



植物性油脂事業
スマールミーティング

2025年12月22日

スピーカー紹介

 不二製油株式会社

上席執行役員 油脂事業本部長 広沢 達明

経歴

1983年	不二製油(株)入社
1997年	不二製油(張家港保税区)有限公司 出向
2002年	不二製油(株)東京販売第一部 第一課長
2009年	同社 名古屋販売部長
2014年	同社 執行役員 事業本部 油脂事業部長
2015年	同社 執行役員 FUJI OIL ASIA PTE. LTD. 社長
2017年	同社 取締役 営業部門長
2025年	不二製油(株)上席執行役員 油脂事業本部長



1

植物性油脂事業の概要

2

業績推移とこれまでの施策

3

今後の見通し

1

植物性油脂事業の概要

2

業績推移とこれまでの施策

3

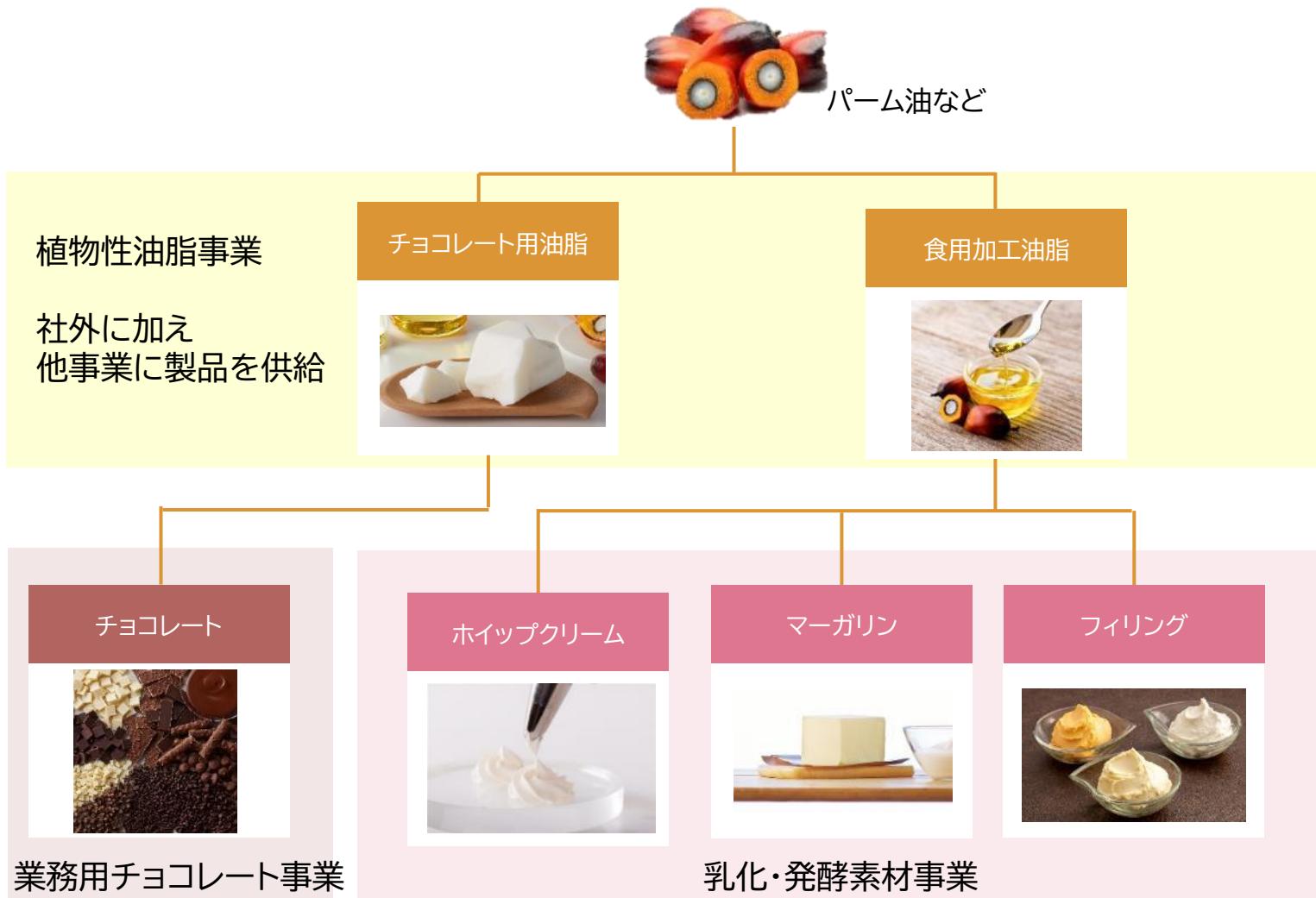
今後の見通し

ビジネスモデル

油脂をベースに、加工度の高いチョコレートやクリームなどを展開

不二製油株式会社

- 創業時より、南方系油脂に活路を見出す
- 油脂をベースとした高度加工により、独自性の高いチョコレートやクリームを展開



油脂を利用したコンパウンドチョコレート

油脂とチョコレート両方をポートフォリオに持っているからこそ、機能性の高いコンパウンドチョコレート展開

不二製油株式会社

チョコレートの主な原料



力カオバターの代わりに
CBEなど**チョコレート用油脂**を使用
(=コンパウンドチョコレート)

コンパウンド
チョコレートの
製品・機能
(業務用チョコレート
事業の製品群)



フィリングタイプ
✓ 手で絞れて、
作業が簡便



製菓用CBEタイプ
✓ ブルーム耐性あり
長期流通可



アイス用コーティングタイプ
✓ 口の中で
さっと溶ける



製パン用成型タイプ
✓ 焼成時に
流れ出ない



製菓用コーティングタイプ
✓ コーティング後
すぐ乾く

製品展開

不二製油株式会社

分別された油脂原料を無駄なく使う製品ポートフォリオ

原材料

パーム油、パーム核油、ひまわり油、ヤシ油、シアバターなど

製品群

チョコレート用油脂



フライ用油脂、スプレー油脂



練り込み油脂



育児粉乳用油脂



その他



販売先

チョコレート菓子
メーカー

業務用チョコレート
メーカー

即席めんメーカー

スナック菓子
メーカー

外食チェーン

冷菓メーカー

加工食品メーカー

育児粉乳メーカー

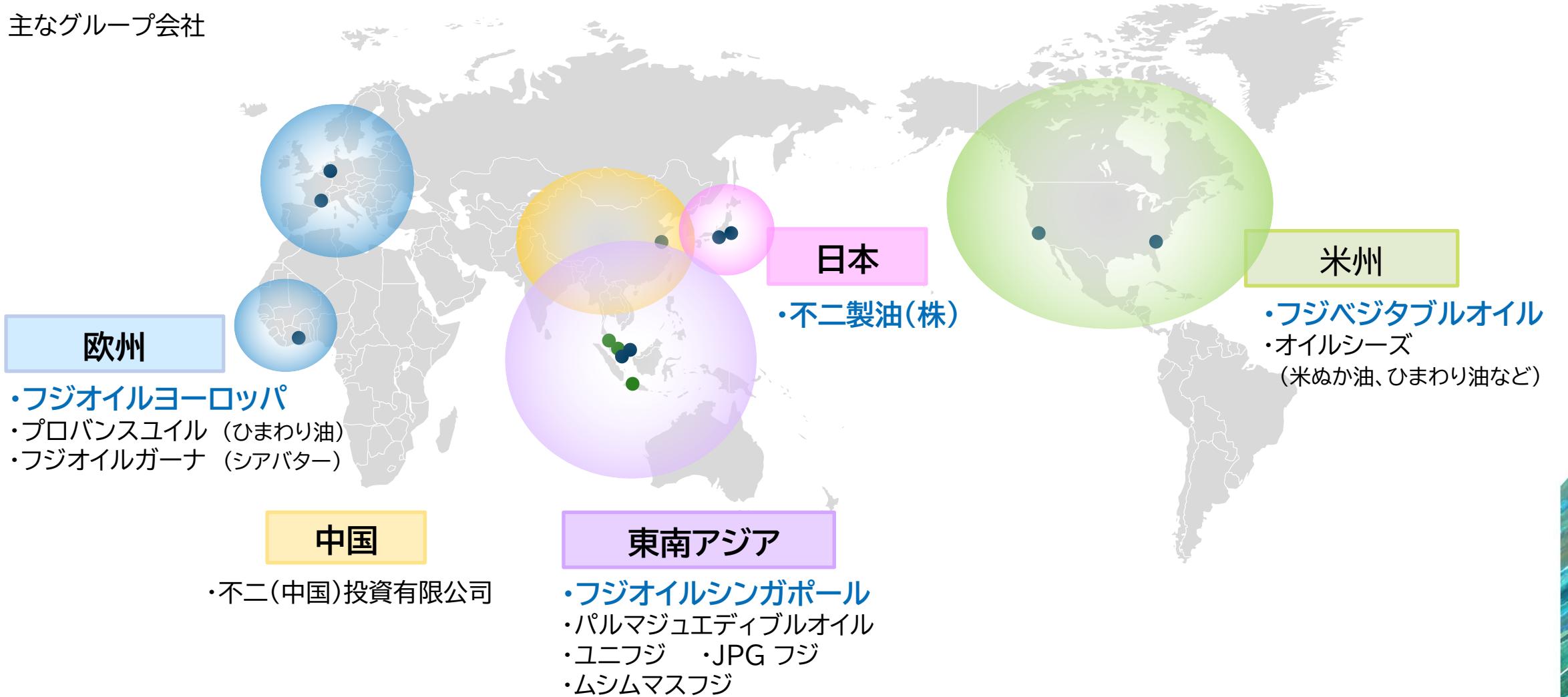
同業他社
(チョコレートや
ホイップ、マーガリン
メーカー)

グローバル展開

1980年代より本格的に海外進出を進め、9カ国20社に展開

 不二製油株式会社

主なグループ会社

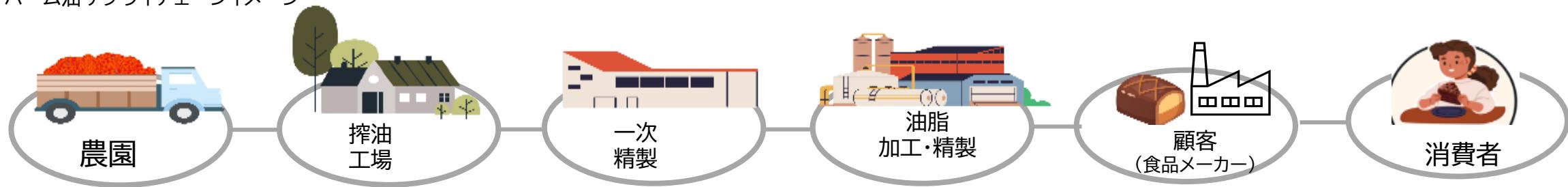


サプライチェーン

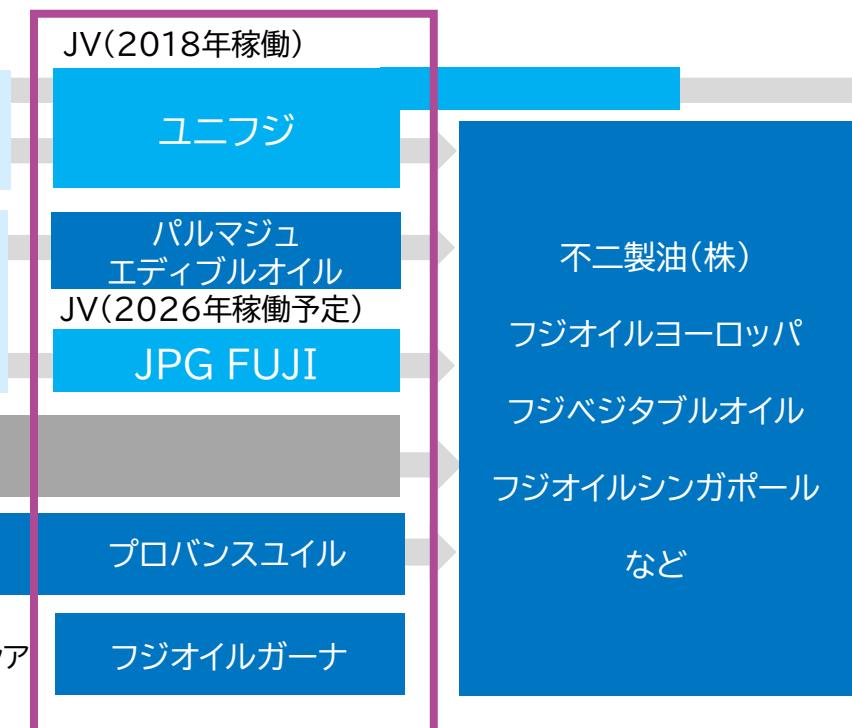
不二製油株式会社

油脂加工・精製の拠点に加え、近年、サプライチェーン上流に位置する拠点のグループ化を進める

パーム油サプライチェーンイメージ



パーム



1

植物性油脂事業の概要

2

業績推移とこれまでの施策

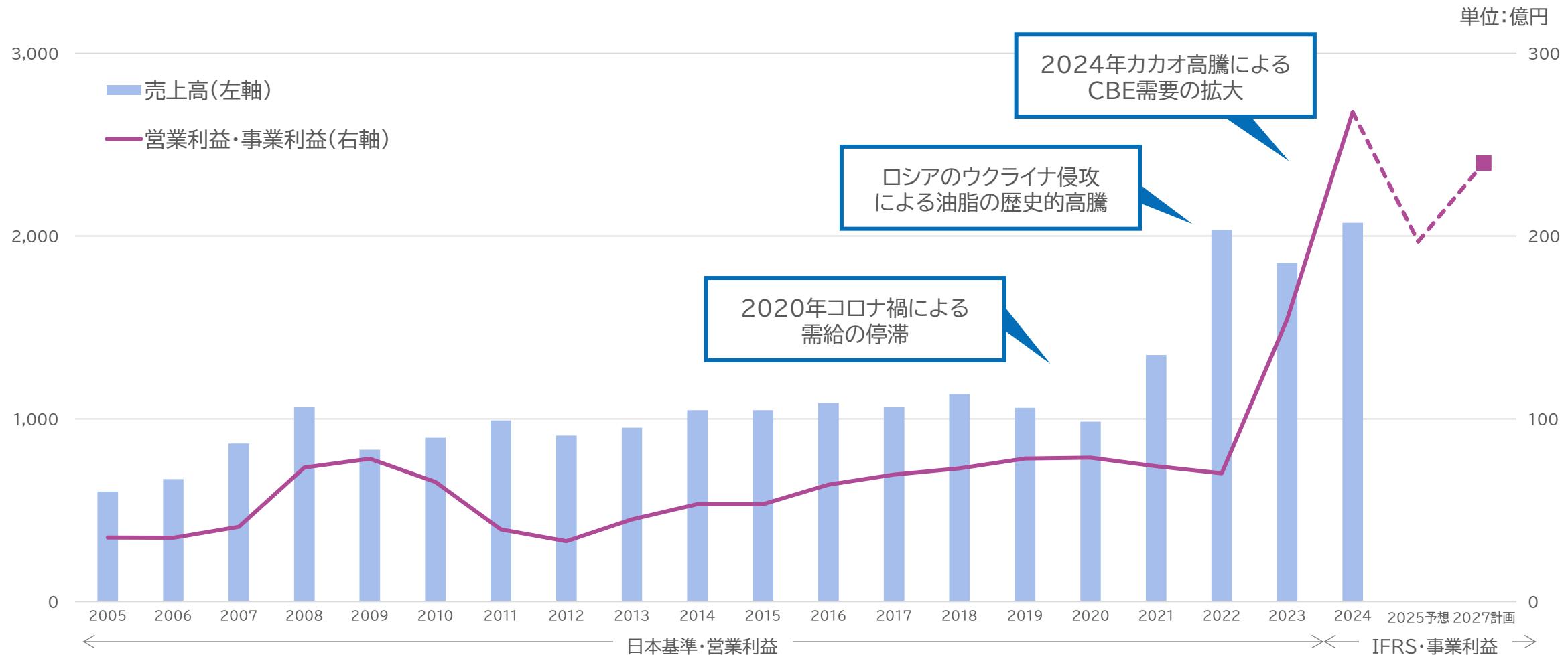
3

今後の見通し

業績推移

不二製油株式会社

ポートフォリオの入替やチョコレート用油脂(CBE)の需要増により、2024年度過去最高益を更新

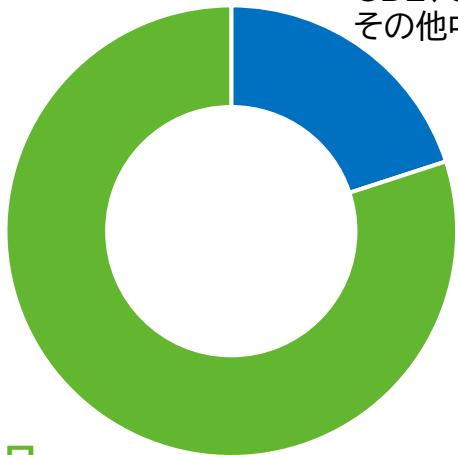


業績分析

チョコレート用油脂(CBE)に加え、「その他製品」での収益性が大きく向上

 不二製油株式会社

数量イメージ



広義の チョコレート用油脂

CBE、CBR、CBS、
その他中間製品を含む

その他製品

フライ用、練り込み用、冷菓用、
育児粉乳用、その他

2020年度以降の業績を分析

- ✓ 数量の割合は、2020～2024年度で、**ほぼ同水準**
- ✓ 粗利の割合も、2020～2024年度で、**ほぼ同水準**



チョコレート用油脂に加え、
その他製品群がこの数年で大きく成長

油脂事業の主要4社を対象に、2020年度以降の実績を分析

4社:不二製油(株)(日本)、フジオイルシンガポール、
フジベジタブルオイル(アメリカ)、フジオイルヨーロッパ(ベルギー)

サステナビリティ関連 法規制



- ✓ EU森林破壊防止規則(EUDR)など、法規制の検討が進む。トレーサビリティやデューデリジェンスの仕組み構築が求められる。
- ✓ 欧州以外においても、顧客からの認証油やトレーサビリティ等のニーズが高まる。

プロセスコンタミナント の低減



- ✓ 大手顧客より、プロセスコンタミナント（食品の製造工程で偶発的に生じる人の健康へ悪影響を与える恐れのある物質）を低減したいというニーズが高まる。
- ✓ サプライチェーン上流の管理や、製造方法の改良が低減の鍵となる。

チョコレート消費の拡大と 力力オ供給不足



- ✓ 新興国を中心とした、人口増加や経済成長を背景に、世界でチョコレート菓子消費は拡大の見込み。
- ✓ 一方、力力オ豆の生産数量を大きく伸ばすことは難しい。

不二製油の施策：高品質でサステナブルなサプライチェーンの強化

1-1-1サプライチェーンを構築し、社会・顧客のニーズに応える

不二製油株式会社

ニーズ

- ・サステナビリティ関連法規制への対応
- ・プロセスコンタミナントの低減



トレーサビリティや、環境・人権への取り組み、農園や一次精製での工程管理・改善の観点から

1-1-1サプライチェーンが有効

1つの農園・1つの搾油工場・1つの精製所
(RSPO認証油では、最高のIPグレード)



マレーシアに一次精製を行う油脂拠点を設立

ユニフジ

2018年稼働

JPG フジ

2026年稼働予定



広大なパーム農園の一角に立地
(写真はJPGフジ完成イメージ)

農園

搾油工場

一次精製

United Plantations

ユニフジ

Johor Plantations

JPG フジ

CBEなどを製造する加工油脂メーカー大手3社の中で、唯一IPグレードを取り扱う

不二製油の施策：日本での啓蒙活動

パーム油ツアーなどを通じて、パーム油のサステナビリティの重要性を顧客に伝える

 不二製油株式会社

顧客への
啓蒙

顧客とのパーム油ツアーを実施

2018年以降、日本の複数の主要顧客に対し
パーム油ツアーを実施。
パーム油の環境や人権などの課題認識、RSPO認証油
の仕組み、当社の取り組み等の理解を広げる。



日本でも
RSPO認証油の割合が
この数年で **大きく向上**

販売
サポート

サステナビリティ専任部署を販売部に配置

サステナビリティの取り組みを顧客に伝え、実績につなげる
ために、サステナビリティ専任部署を販売部に配置。

エリア別概況

不二製油株式会社

ポートフォリオ変革、チョコレート用油脂(CBE)需要拡大により、各エリアで収益向上

日本

- 2024年度、CBE販売数量が増加
- 認証油やトレーサブルなパーム油需要が高まる
- パーム油の取扱シェア拡大による競争力向上

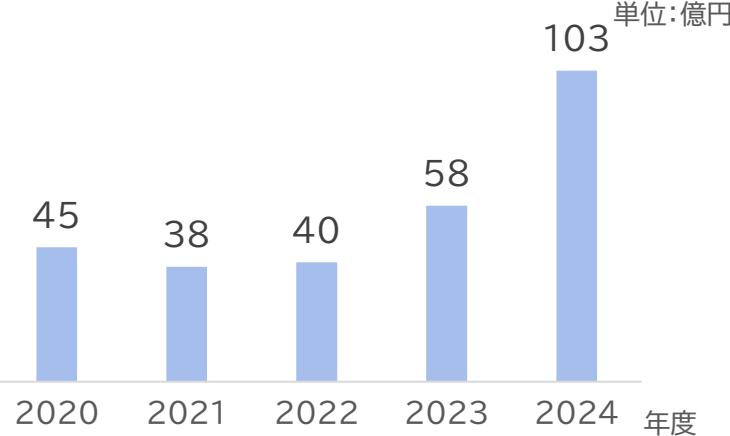
欧米

- 米州：米国グループ会社の再編を進め、収益性が向上
- 欧州：サステナビリティ関連法規制やプロセスコンタミナントに対応

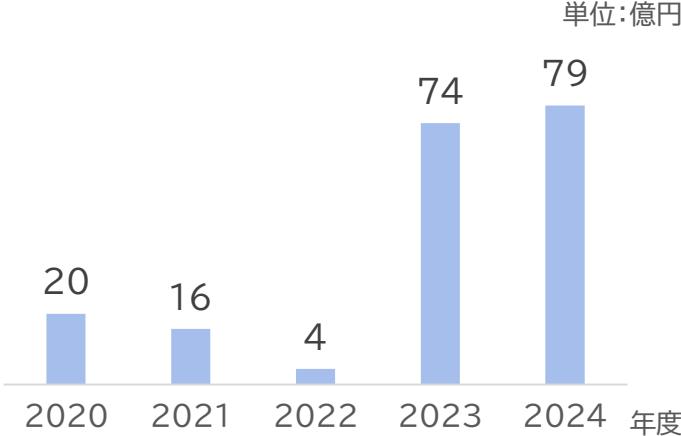
アジア

- 2024年度、中東など新規顧客への拡販が進み、CBE販売数量が大幅増加
- 認証油等、欧州中心に販売が伸長

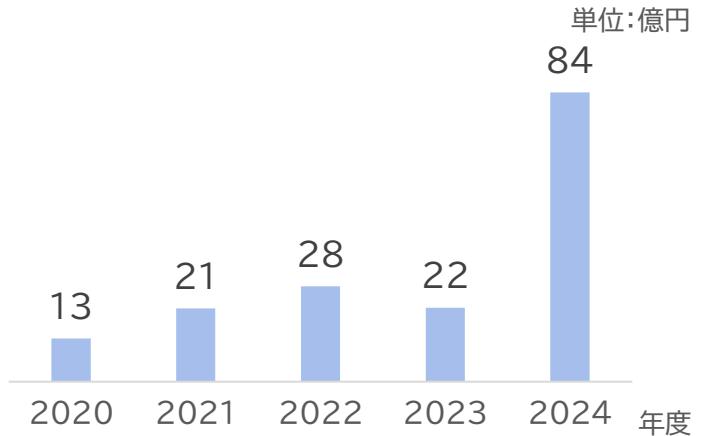
日本エリア 営業利益(日本基準)



欧米エリア 営業利益(日本基準)



アジアエリア 営業利益(日本基準)



1

植物性油脂事業の概要

2

業績推移とこれまでの施策

3

今後の見通し

チョコレート用油脂(CBE)

2025年度収益性は大きく向上。機能性訴求や原料による差別化により、付加価値を高める

不二製油株式会社

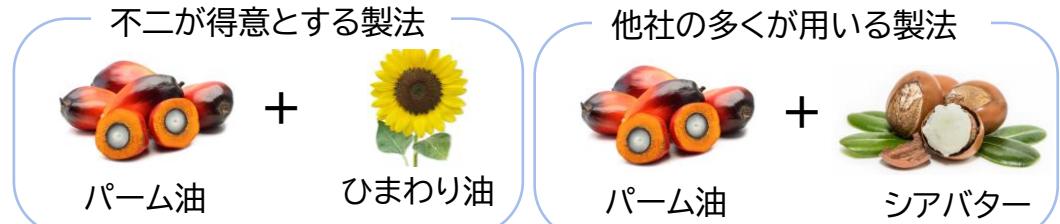
需要

需要の強さは継続も、懸念材料あり
・チョコレート菓子の消費減退
・カカオバター価格下落



CBEの原材料

- パーム油、ひまわり油の相場は安定
- シアは生産国におけるシアナツの禁輸政策により供給量に制限あり



CBEマーケット拡大と、差別化に向けて

✓ マーケット拡大

人口増加と経済成長により、世界のチョコレート菓子市場は拡大。クッキーなどの組み合わせで使われるコンパウンドチョコレートはさらなる成長が期待される。

世界のチョコレート菓子市場予測

2024-2030

CAGR 5.7%

Unit: billion US\$



Note : Euromonitor Chocolate Confectionery 2025
Geography: world, category: chocolate confectionery
Data type: Retail Value RSP

✓ 原料による参入障壁

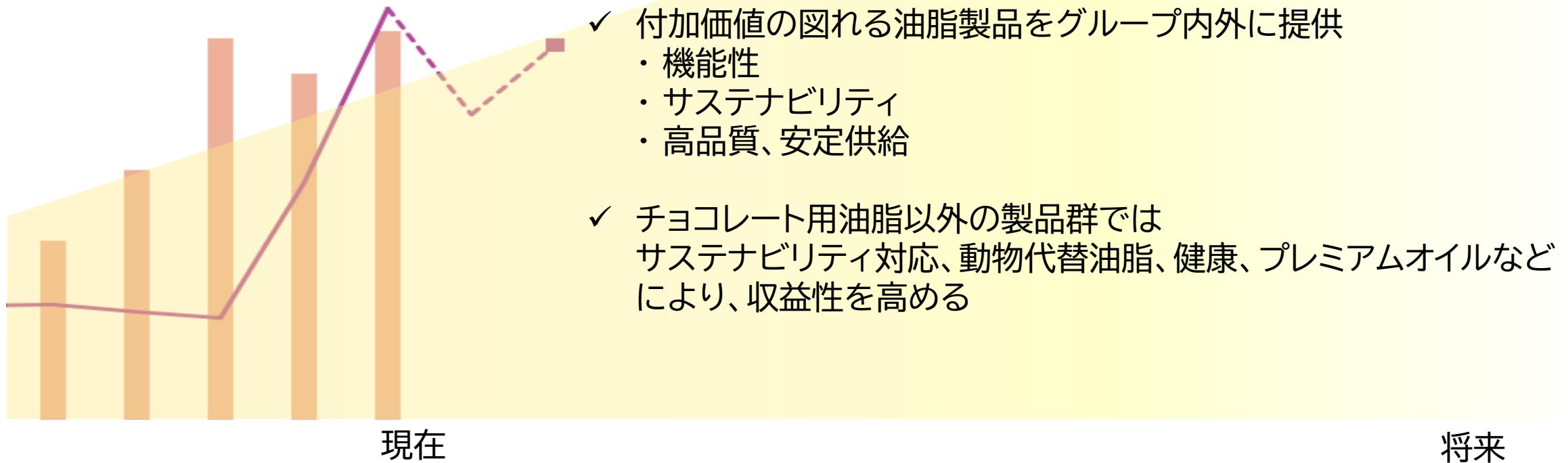
ひまわり油・シアバターの上流拠点をグループ化し、サプライチェーン上流から顧客まで一気通貫した体制を確立。これにより、自社での高効率な生産と、顧客への高品質でサステナブルな製品供給を実現。

中長期の方向性

コンパウンドチョコレートの拡大機会を捉え、植物性油脂・業務用チョコレート両事業で成長する

不二製油株式会社

✓ 世界でのコンパウンドチョコレート 市場拡大が植物性油脂事業の成長となる





不二製油株式会社

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、予想の前提、予測を含んで記載しており、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。